

Nagasaki Peace forum 2023



令和5年度 青少年ピースフォーラム報告書

長崎市／公益財団法人 長崎平和推進協会

1 概要

全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年の皆さんと長崎の青少年と一緒に被爆の実相や平和の尊さを学習し、交流を深めることで平和意識の高揚を図る目的で平成5年度から長崎市が実施しており、令和元年度から、公益財団法人 長崎平和推進協会が長崎市からの委託を受け実施しています。青少年ピースフォーラムの主な企画及び当日の進行は、長崎市の青少年ピースボランティアが担います。

令和5年度は、台風6号の接近に伴い、8月8日のみの開催となりました。被爆建造物等を巡るほか、室内学習では、照明や音響を活用した、戦時下の生活を疑似体験するプログラムを実施、また4年ぶりに交流会を開催しました。「現地で学ぶ・集って学ぶ」意義の感じられる1日となりました。

2 令和5年度 青少年ピースフォーラムについて

- ✓ 日時 令和5年8月8日（火） 14：00～19：30
- ✓ 当日プログラム

日	時	内 容 <場 所>	
1 日目 8 / 8 (火)	14:00 ～15:15	1) 開会行事 ・開会宣言 ・長崎市長挨拶 ・被爆体験講話 築城昭平氏 <平和会館ホール>	
	15:25 ～17:30	2) 平和学習①「(コース別) 長崎原爆の実相について学ぶ」	
		【Aコース】 ・平和学習 <平和会館ホール> ・こぢんまりフィールドワーク <原爆資料館周辺>	【Bコース】 ・被爆建造物等のフィールドワーク ・フィールドワークのおさらい <原爆資料館周辺>
	17:30 ～18:00	平和の灯キャンドル絵付け(長崎市実施) (参加希望自治体のみ) <平和会館ホール>	
18:00 ～19:30	交流会 (参加希望自治体のみ) <長崎新聞文化ホール・アストピア>		

【住所】長崎市平和会館（3階 平和会館ホール） / 長崎原爆資料館……長崎市平野町 7-8

✓ 参加者

12 自治体：163 名（+引率 45 名）

※サントス市含む。

青少年ピースボランティア：60 名

都道府県	自治体名	参加人数
北海道	旭川市	2
宮城県	気仙沼市	3
福島県	郡山市	28
福島県	いわき市	29
千葉県	松戸市	22
神奈川県	藤沢市	18
大阪府	箕面市	18
福岡県	北九州市	20
宮崎県	日向市	7
沖縄県	石垣市	2
沖縄県	北谷町	12
ブラジル	サントス	2
合計		163

台風 6 号の接近に伴い、やむを得ず不参加となった団体があります。

25 自治体：212 名（+引率 137 名）



2023.9.23 平和の灯 爆心地公園

参加者が絵付けしたキャンドルが灯されました

8月8日（火） 青少年ピースフォーラム

司 会：近藤 拓人（青少年ピースボランティア）

開会宣言：石崎 彩乃（青少年ピースボランティア）

下山 花（青少年ピースボランティア）

被爆体験講話



講話者：築城昭平さん

（被爆当時 18 歳）

当時長崎師範学校在学中。（18 歳）軍需工場へ学徒動員され、爆心地から 1.8km の学校の寮で、当日の夜勤にそなえ睡眠中に被爆。全身火傷を負う。特に左腕と左足先は重傷だった。



参加者の声

- ・被爆した人の、直に体験した出来事や当時の日本がどのような状態であったかを、詳しく知ることができ、改めて平和の大切さや今の自分が幸せで豊かな生活を送れていることの感謝の気持ちを感じた。
- ・聞いている自分も苦しい気持ちになって、平和がこんなにも尊く貴重だと思った。
- ・どうすれば核兵器をなくせますか、という質問に対する、伝えること、という答えをきいてこの平和学習に参加した自分たちの使命を感じた。
- ・「核兵器が無くなると、世界は平和にならない」という言葉が心に残り、戦争の悲惨さを知りました。
- ・一番強く心に響いたのは「もっと勉強がしたかった」という言葉です。今、私たちは、好きなだけ勉強ができます。平和だからです。なので当たり前ではないこの今を、大切に生きなければならぬんだと思いました。

平和学習① 「(コース別) 長崎原爆の実相について学ぶ」

2つのコース (A コース・B コース) に分かれて、長崎原爆の実相について学ぶ平和学習を行いました。

A

室内学習と、こぢんまりフィールドワークを行いました。

室内学習では、戦時中の暮らしや長崎原爆の被害についての説明の他、「戦時下の生活を疑似体験するプログラム」を実施しました。こぢんまりフィールドワークでは、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、原爆資料館の展望デッキや周辺の像を見学しました。



「戦時下の生活を疑似体験する」

照明や音・写真を組み合わせることで、空襲など戦時中の状況を実際に体験しているような気持ちになってもらいました。大切な「人」や「動物」、「もの」、「場所」を書いたカードを戦況が悪化するにつれて手放すことで、大切なものが次々に奪われていく「戦争の怖さ」を想像できるプログラムです。



B

平和公園コース・浦上天主堂コース・山王神社コースの3つのコースに分かれて、被爆建造物等のフィールドワークを実施しました。各ポイントでは、青少年ピースボランティアがガイドし、フィールドワーク終了後は、コース別に振り返りを行いました。当日見学した場所だけでなく、他のコースの案内箇所についても学習しました。



平和公園コース

【爆心地公園】原爆落下中心地碑、浦上天主堂の遺壁、被爆当時の地層、下の川

【平和公園】平和の泉、長崎刑務所浦上刑務支所、平和祈念像、平和のモニュメント

浦上天主堂コース

【浦上天主堂】浦上天主堂、鐘楼ドーム

【爆心地公園】原爆落下中心地碑、浦上天主堂の遺壁、被爆当時の地層、下の川

山王神社コース

【長崎大学医学部】ゲストハウス、原爆犠牲者名碑、角尾学長の像、旧正門門柱

【山王神社】坂本町民原子爆弾殉難者之碑、一本柱鳥居、被爆クスノキ





A コース

【室内学習：戦時中の生活・長崎原爆について】

- ・わかりやすく被爆について教えていただきました。写真を実際に見せていただきながら説明を受けたので今まで学んだことがより理解できました。
- ・核兵器の数を音で表してくれて、10000という数が全然想像できなかったものの音で表現してくれたことによって、分かりやすかった。
- ・同世代の中には、平和について学習し、次世代へ戦争や原爆の本物の記憶を方つないでいこうと活動している方々がいることを知り大変刺激になりました。

【室内学習：「戦時下の生活を疑似体験する」】

- ・実際にワークショップがあったので、自分ごととして体験できたのはとても良かったと思う。
- ・大切な物が書いてあるカードが次々に核や戦争によって消えていく悲しさや世界に存在する核弾頭の数など様々な事を知れて良かったです。
- ・空襲時に身を守るかまえをならってこんなに怖いことがあるんだと思った。
- ・実際の空襲を疑似体験してみて思ったことは、暗い中で、現実として命の危機を感じながら過ごしていた人がたくさんいたということを思うと胸が苦しくなります。

【こぢんまりフィールドワーク】

- ・こぢんまりフィールドワークの案内をしてくださった方は余裕を持って1人1人のメモを書くペースに合わせて下さったのでしっかり学習することができました。
- ・ふりそでの少女像や被害者の為の水盤を見て、長崎の人の被害者を追悼する気持ちが感じられた。
- ・ガイドツアーでは、原爆によって、実際に被害のあった建物などを見て回りました。未だに原爆で遺された傷などが残っていて、とても痛ましい状態でしたが、長崎で起きた歴史の事実は、後世に語り継がねばと思いました。

B コース

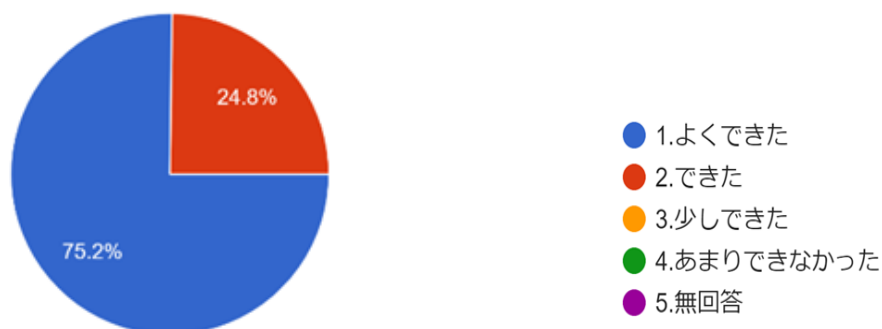
- ・ピースボランティアの方々の丁寧な説明のおかげで、今まで自分が知らなかったことを印象強く、知ることができた。
- ・浦上天主堂の爆風で飛ばされた旧鐘楼台を見ると、爆風の勢いや爆風の方向を感じることが出来て具体的に想像することが出来ました。また、爆心地のモニュメントの真上を見ると、この空で爆発したんだなと思い、現実の起きたことなんだなと感ずることが出来ました。
- ・刑務所の跡地があり、その刑務所には外国の人が45人ほどいたと聞いて外国の方も原爆の被害にあったんだと知れた。
- ・平和公園の平和祈念像はすべてのポーズにさまざまな思いが込められていると知ってそれぞれのとても大切な意味だということが分かりました。

各コースの紹介動画を、
Youtubeにて公開中です!!
導入学習や振り返り、
コース選定等のご参考に、
是非ご活用ください。

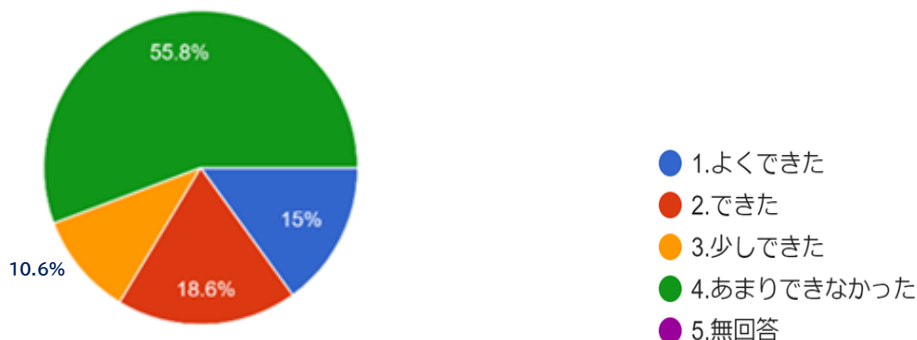


3 アンケート結果

1. このフォーラムに参加して、被爆の実相や平和の尊さを学ぶことができましたか。



2. 他の自治体の参加者と仲良くなることができましたか。



ご意見・ご感想（職員様方より）

- ・被爆者のかたに直接お話しを聞く機会が少なくなっている中、貴重なお話しをしていただいていたかった。私自身直接お話を聞くことが初めてで、当時の体験から平和を願う気持ちを受け取ることができた。子どもと若者が直接的に質疑応答のなかで交流できる場面もよかったです。
- ・雨の降る中、B コースを中止とならずに体験できてとてもよかったです。子ども達は、案内していただいた若者との交流が記憶に残っているようです。今回は聞いて学ぶ体験をした子どもたちも、継続して参加することで、出来事や意思を語り継いでいくひとになっていけたらと思いました。
- ・学生の参加が、自発的なボランティアであることに驚いた。
- ・いい意味で、学生たちの手作り感満載で、とても微笑ましいものと感じた。

令和5年度

青少年ピースフォーラム 報告書

発行 公益財団法人 長崎平和推進協会
所在地 〒852-8117
長崎市平野町7番8号
電話番号 095-844-9922
FAX 095-844-9961
Eメール keishou@peace-wing-n.or.jp



長崎平和推進協会

YouTube



Instagram



PEACE_WING0809



長崎市

長崎市の平和・原爆

Facebook

